

子どもが考えて創り上げる『1年生を迎える会』

特別活動主任 中浜 愛美子

今年度、1年生を迎える会が大きく変わりました。昨年度までは、予めプログラムが決められており、子どもはその計画に沿って準備をしていました。しかし、今年度は、子どもの自律性を育むことを目指し、子どもが自ら考えて活動内容を決め、学年ごとに実施することになりました。

4月、各学級や各学年で活動内容を決める話し合いが行われました。話し合いで出た意見の中には、単に楽しいからという理由で挙げられた活動や、1年生にとって難しい活動もありました。子どもは、1年生を迎える会のねらいに立ち返り、どれが相応しいのかを考え、さらに意見を交わしていきました。「この活動は1年生でも楽しくできるから、いいと思いました。」「～さんの意見は、1年生がとても喜びそうだと思います。」「～さんの話を聞いて、この遊びは危ないかなと思いました。」「この遊びのルールを1年生が理解できるか心配です。」このようなやり取りを通して、少しずつ意見が絞られていきました。この話し合いでは、子どもが1年生の立場に立ち、1年生に楽しんでもらうための工夫を考えていました。また、自分が考えたことをみんなに分かりやすく説明したり、自分とは違う意見に対して、その背景にある考えを理解しようとして聞いたりするなど、子どもが主体的に考えて合意形成をすることができました。話し合いの結果、2年生はアサガオの種のプレゼント、3年生は特大メダルのプレゼント、4年生は校歌と児童朝会歌の斉唱、5年生は横小レンジャーの紹介とじゃんけん列車、6年生は鬼ごっこをすることに決まりました。

今月のはじめ、6年生による1年生を迎える会が行われました。鬼ごっこが始まると、6年生は1年生の走る速さに合わせて走りながら、1年生を追いかけたり、1年生は一生懸命に走って6年生を捕まえたりして、とても楽しい会になりました。会が終わった後、1年生は、「とても楽しかった。」「もっと一緒に遊びたかった。」と嬉しそうに言っていました。6年生は、1年生が喜んでいる姿を見て、大きな達成感を得ることができました。

1年生を迎える会を含め、学校には様々な行事があります。その1つ1つが子どもの自律性を育む機会となります。未来の担い手である子どもが、よりよい社会の創り手となるため、本校では、これからも子どもが自ら考え、自らの手で創り上げることを大切にしていきます。

